信濃川水系河川整備計画変更について

令和4年4月28日

北陸地方整備局 信濃川河川事務所



◆信濃川水系河川整備計画変更のポイント

① 令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し

- ◆現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。 将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとする。
- ●上流部(千曲川) 戦後最大を更新した令和元年10月洪水と同規模の9,400m3/sを基準地点立ヶ花の目標流量とし、堤防の決壊, 越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。
- ●中流部(信濃川) 戦後最大を更新した令和元年10月洪水及び上下流バランスを考慮し、12,000m3/sを基準地点小千谷の目標流量とし、堤防の決壊, 越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。
- ◆河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討。 河口部で洪水処理を担う大河津分水路の改修を優先的に進めるとともに、上流部・中流部の安全性が段階的に向上するよう立ケ花狭窄部などの河道掘削や築堤等の整備を実施する。 河道断面(河積)の確保にあたっては、河道掘削、自然再生、砂利採取等の連携した実施により、持続可能な河道の流下能力の維持・向上や生物の生息・生育・繁殖環境の保全、創出、樹林化の抑制や再繁茂対策などを図る。また、大町ダム等再編事業に加え、遊水地の設置や、洪水調節機能の向上を図るため、関係機関と調整のうえ、調査・検討を行い、必要な対策を実施する。

② 流域治水を踏まえ治水対策案を見直し

ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。

●既存の霞堤により洪水流を貯留する効果や氾濫流の拡大防止効果の維持・保全を図る。また、掘削残土を活用した河川防災ステーションの整備を行う。さらに、住民の確実な避難に向けたマイ・タイムラインや流域タイムライン等のハード・ソフトー体となった対策により、被害軽減を図る。

河川整備計画変更(原案)

第2回信濃川水系流域委員会 中流部会(令和4年1月13日)資料

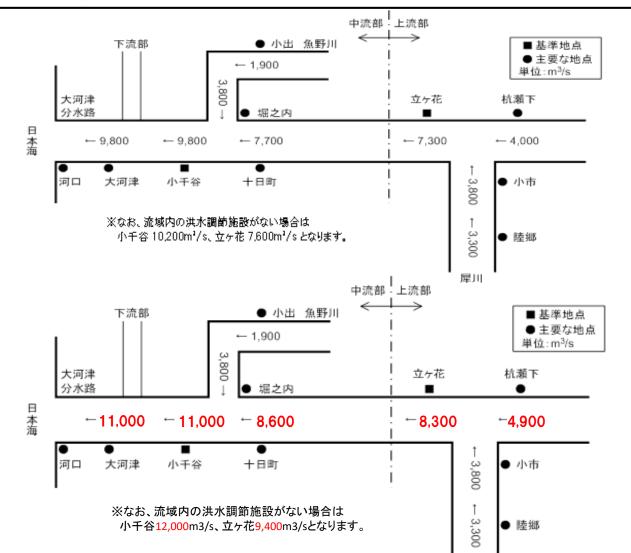
犀川



◆流量配分図 (中·上流部)

- 戦後最大規模の洪水となった令和元年東日本台風(台風第19号)洪水に対し災害の発生の防止又は 軽減を図るため、整備目標の引き上げを実施。
- 計画変更の対象区間は、被災、出水規模等を踏まえ、上流部千曲川及び中流部の信濃川の本川に位置する基準地点、主要地点の区間とする。

現行(H26.1策定)



部

会

公

表



北陸地方整備局

令和元年出水概要、緊急治水対策P 河川整備計画の変更 令和3年 令和2年 令和2年 令和2年 令和4年 令和4年 令和4年 令和4年 11月20日,30日 10月26日 1月13日 2月16日 1月10日 9月24日 第2回 第3 第 第6 第5 河 河 河 河 河 川整備計画 П 第2回 第 П 口 第 3 整備 整備 整 備計 整備計 信濃 信濃 信濃 信濃 回 信 計 計 関 濃 上流部会• 上流 上流部会 画 圃 画 係 関係機関 住 |||画点検 知事意見聴 民意 第三 第三 第 三 水系流 第三 水系流 水 部 水 会 系流 系流 系流 見 回変更 回変更原案 協議 П 回変更案 中 中流部会·下流部会 中流 聴 流 変更骨子 域委員会 域 域委員会 域委員会 域委員会 取 取 部 部会• 委員会 部 会 i 会 設 立 下 公表 流 流

公

表

台風第 19号出水 Ŕ

部

会

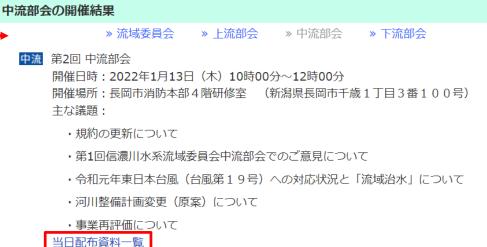
変更(原案)の詳細について



■ 信濃川水系河川整備計画のポータルサイトにて確認可能です。
https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/shinano-plan/ryuiki/index.html

信濃川水系河川整備計画ポータルサイト





議事概要(295KB)🙆